

螺鈿に使う貝の種類 早見表

青貝・夜光貝・白蝶貝・黒蝶貝 | 色・光り方・向いている作品・価格目安

■ 4種類の貝の特徴くらべ

貝の種類	色味・光り方	向いている作品	雰囲気
青貝 (カワシンジュガイ)	青～緑の控えめな虹色	日常小物・茶道具など	落ち着いた・アンティーク調
夜光貝 (ヤコウガイ)	多色の強い干渉色	アクセサリー・贈答品	華やか・豪華・存在感
白蝶貝 (シロチョウガイ)	乳白色の柔らかい光	アクセサリー・上品な小物	清楚・ミニマル・優しい
黒蝶貝 (クロチョウガイ)	黒地に浮かぶ深い干渉色	男性向け小物・黒漆作品	大人っぽい・高級感・重厚

■ 素材の販売形態と価格目安

貝の種類	販売形態	価格目安	おすすめ用途
青貝シート	薄切りシート・枚売り	1,000～3,000円	入門・日常小物
夜光貝素材	貝殻・加工シート	2,000～8,000円	漆器・装飾品
白蝶貝素材	シート・カット済み	1,500～5,000円	アクセサリー
黒蝶貝素材	シート・カット済み	2,000～6,000円	高級品・メンズ
螺鈿体験キット	道具・貝セット	3,000～10,000円	初心者・ギフト

厚貝=色がハッキリ・立体感(豪華な象嵌向き)／薄貝=透明感があり背景が透ける(繊細な細工向き)